

# 車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号は ① 表示です。

平成19年12月26日 作成

平成23年 4月15日 更新

BOX No.139002

車両情報

ホンダ ゼスト

平成19年1月～20年12月

JE#系

1/2ページ

① セキュリティーアラーム付き車 (全車)

ES-89Light

Type N.L.

Opt.

## ① 注意事項：セキュリティーアラームについて

・全車セキュリティーアラーム付きのため、取り付けができるエンジンスターターは以下のモデルのみです。

- ES-89Pico (ESP11) シリアル：G0131001以降の製品のみ
- ES-89ProLight II (ESL24) ● Pico950 (ESP40)
- ES-89ProLight (生産終了モデル)
- ES-89DualPico (生産終了モデル)

・別売のダイオードハーネス (EP101) の取り付けが必須になります。2/2ページを参照してください。

・使用上の注意事項があります。2/2ページを参照してください。

## ① 注意事項：スマートキー付き車のみ

・スマートキーシステム (イモビライザー) が、装着されている車両があります。…グレード別装備。

・取り付けの際は、H-2イモビ対応ユニット (FOH02) を使用します。

・詳細は、イモビ対応ユニットの取付説明書を参照してください。

## ① スマートキー付き車のみ

キーシリンダ右上側のイモビアンブユニット裏側 緑色7Pカプラ

**H-2イモビ対応ユニット**

7Pコネクタを割込接続

ヒューズBOX内 左上側の茶色カプラ

**専用ハーネス**

**VH119**

## ① 運転席側カバー類の外し方

① ロアカバーを外す。…真ん中のネジ1本を外してから、カバー左右のツメに注意して、手前に引っ張って外す。

② コラムカバーを外す。(ネジ1本、プラスチック1本)

※スマートキー付き車は、カバーを外す前に、キー回転ノブを先に外すこと。キー回転ノブは、ノブ下側の穴からマイナスイモビライザーにてツメを押して内部のカバーを外してから、内側にあるネジ2本を外すと、ノブが抜けます。

## A/T車設定が必要な手順のみ

(A/T車設定作業について) 配線・受信機取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のキースイッチをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)Pレンジに戻す。
- ④ 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤ 設定完了。

※設定作業をしないと、エンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2緑色)

車両配線色

止めネジ等



下から見て左奥側にある 白色10Pカプラ

**L端子(茶)**  
紫

① ホーンの接続先カプラ (コラムカバー内上側) は、装備の内容により下記のいずれかになります。

白色5Pカプラ

**ホーン(緑)**  
青

① 機能付き機種のみ配線

白色20Pカプラ

**ホーン(緑)**  
青

ヒューズBOX

ヒューズBOX内右側 緑色4Pカプラ

**ドア(紫)**  
緑

① ルームランプ系DOOR配線。(セキュリティ機能等を使用しない場合のみ、こちらに接続してOK)

ヒューズBOX内左側 緑色8Pカプラ

**運転席ドア(紫or白/黒)**  
緑

**その他のドア(白/黒)**  
茶

① 運転席ドアの開閉のみ検出。① 運転席以外の全ドアの開閉を検出。ドア信号検出ユニット (別売) が必要です。

## ① ドア開閉検出について…セキュリティ機能を使用する場合等。

※全てのドア開閉検出を行う場合は、CN2のドア検出配線を、必ず本ページで指定された2箇所接続してください。…ヒューズBOX内左側緑色カプラ内の2箇所接続すること。接続には、別売のドア検出ユニット (商品コード：EP030) が必要です。

# 車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号は ① 表示です。

平成19年12月26日 作成

平成23年 4月15日 更新

BOX No.139002

車両情報

ホンダ ゼスト

JE#系

2 / 2 ページ

平成19年1月～20年12月

① セキュリティーアラーム付き車 (全車)

ES-89Light

Type N.L.

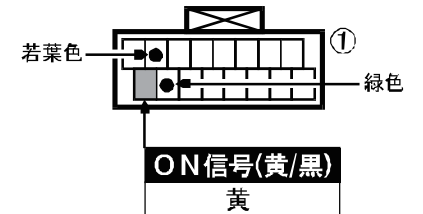
Opt.

## ① 使用上の注意事項

- ① エンジンスターターのアフターアイドル機能は使用しないでください。(機能の設定はしないでください。)
  - ・アフターアイドル機能を使用すると、セキュリティーアラームが正常に動作しなくなる場合があります。
  - ・また、通常の始動(車両のエンジンノブ)によるアイドル中(走行時も含む)に、車両側が誤作動する場合があります。
- ② エンジンスターターでアイドル中は、車両のキーレスエントリー操作によるドアロック/アンロックは作動しません。
  - ・リモコンのSTOP操作で一旦エンジンを止めてから、キーレスエントリーを操作してアンロック/ロックをしてください。
  - ・なお、スマートキー付き車は、アイドル中にもスマートエントリー操作(運転席ドアのリクエストスイッチを押す)によるアンロック/ロックは作動します。セキュリティーアラームのセット/解除も連動します。
  - ・また、エンジンスターター(ES-89ProLight II)のリモコンによるアンロック/ロックは、アイドル中にも作動します。セキュリティーアラームのセット/解除も連動します。
- ③ セキュリティーアラームをセットして警戒中は、メカニカルキーでドアをアンロック(開錠)しないでください。
  - ・エンジンスターターによるアイドル中は、セキュリティーアラームがセットされた(ドアがロックされた)状態で、メカニカルキーを使ってドアをアンロックすると、セキュリティーアラームの警報が作動します。

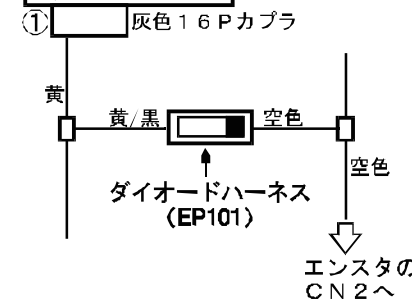
## ダイオードハーネスの接続方法

＜ハーネス側より視＞  
ヒューズBOX裏面の下側  
灰色16Pカブラ

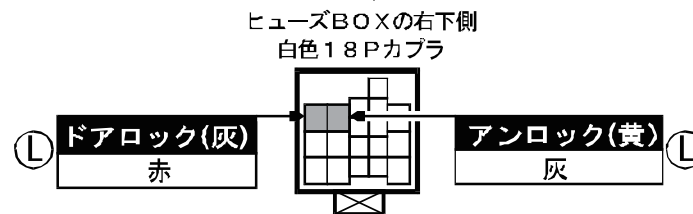


- ① 灰色16Pカブラ内の黄色(上図)に、ダイオードハーネスの黄/黒を接続する。
- ② カブラ内に同色の配線(黄色)が複数あるので、接続先を間違えないように十分注意すること。…上図の場所が正。

ヒューズBOX  
裏面の下側



- ① ダイオードハーネスの空色は、エンジンスターターCN2の空色(ギボシ付きの空色)に接続する。



# 車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

平成19年 9月 1日

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

## ■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、必ずヒューズ（25A）付きの専用ハーネス（VAS対応品）で取り付けをしてください。



❗ 車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、ⓧの表示をしてあります。

左記の場合、VH116がVAS対応品です。

②初年度登録が2006年（平成18年）6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

## ■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル（オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル）については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

### ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準（新保安基準）に適合しており、全国自動車用品工業会（JAMA）の盗難発生警報装置自主基準（VAS）を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。（以下を確認してください）

①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗ 該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置（機能）を使用する場合、全てのドア（バックドア等も含む）開検知が必要です。

❗ 該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット（別売）が必要になります。

③登録証（全国自動車用品工業会自主基準登録証）は、必ずお客様にお渡しく下さい。

❗ 製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しく下さい。

なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。